

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church
 受難の主日 (枝の主日) Palm Sunday
 父よ、わたしの霊を御手にゆだねます (ルカ 23・46)
 Father, into your hands I commend my spirit. (Lk 23-46)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ
 土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： 黙想会 (パウロ会 山内 堅治 神父様)

ミサの前は祈りの時間です。沈黙を守りましょう。

教会学校四旬節の黙想会

明日3月21日(月・祝)に黙想会をします。
 「ゆるしのひせき」を受けご復活を迎える
 準備をしましょう。是非ご参加ください。

イースターエッグのお願い

イースターエッグご協力をお願いします。3月27日10時ミサ前に、ラッピングをしたゆで卵おひとり7個ぐらいを玄関のカゴに入れてください。傷みやすいので、当日茹でたものをお持ちください。(地区部)

献堂50周年記念事業第4期献金報告

2016年第4期中間報告(2月末現在)

申込者数：41名(目標：200名)

献金合計：746,850円(目標：3,000,000円)1

期からの合計は8,953,113円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

First Communion Class

Class for candidates for First Communion is given by Bro. Ide & started February 28.

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 8,953,113 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

2月まで22名277環です。今年は3,000環が目標です。よろしく願い致します。(50周年委員会)

共同祈願の祈り

キリストは十字架によって
 世を救われる。

その他今後の予定

- 03月20日(日) 受難の主日(枝の主日) PALM SUNDAY
黙想会・共同回心式
- 03月27日(日) 復活の主日 EASTER
- 04月03日(日) 復活節第2主日
- 04月10日(日) 復活節第3主日



今週の掃除は3月26日(土)

市川・行徳地区です。皆様ご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty

March 26th Saturday

Ichikawa・Gyotoku Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

『受難の主日(枝の主日)』C年

今日の福音 ルカによる福音 (19:28-40)

[そのとき、イエスは]先に立って進み、エルサレムに上って行かれた。そして、「オリーブ畑」と呼ばれる山のふもとにあるベトファゲとベタニアに近づいたとき、二人の弟子を使いに出そうとして、言われた。「向こうの村へ行きなさい。そこに入ると、まだだれも乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどいて、引いて来なさい。もし、だれかが、『なぜほどくのか』と尋ねたら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。」使いに出された者たちが出かけて行くと、言われたとおりであった。ろばの子をほどいていると、その持ち主たちが、「なぜ、子ろばをほどくのか」と言った。二人は、「主がお入り用なのです」と言った。そして、子ろばをイエスのところに引いて来て、その上に自分の服をかけ、イエスをお乗せした。

イエスが進んで行かれると、人々は自分の服を道に敷いた。

イエスがオリーブ山の下り坂にさしかかられたとき、弟子の群れはこぞって、自分の見たあらゆる奇跡のことで喜び、声高らかに神を賛美し始めた。

「主の名によって来られる方、王に、祝福があるように。天には平和、いと高きところには栄光。」

すると、ファリサイ派のある人々が、群衆の中からイエスに向かって、「先生、お弟子たちを叱ってください」と言った。イエスはお答えになった。「言っておくが、もしこの人たちが黙れば、石が叫び出す。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (19:28-40)

Jesus' Triumphal Entry

Jesus went ahead with his ascent to Jerusalem. As he approached Bethphage and Bethany on the mount called Olivet, he sent two of the disciples with these instructions: "Go into the village straight ahead of you. Upon entering it you will find an ass tied there which on one has

yet ridden. Untie it and lead it back. If anyone should ask you, 'Why are you untying it the breast?' say, 'The Master has need of it.'

They departed on their errand and found things just as he had said. As they untied the ass, its owner said to them, "Why are you doing that?" They explained that the Master needed it. Then they led the animal to Jesus, and laying their cloaks on it, helped him mount. They spread their cloaks on the roadway as he moved along; and on his approach to the descent from Mount Olivet, the entire crowd of disciples began to rejoice and praise God loudly for the display of power they had seen, saying: "Blessed be he who comes as king in the name of the Lord! Peace in heaven and glory in the highest! Some of the Pharisees in the crowd said to him, "Teacher, rebuke your disciples." He replied, "If they were to keep silence, I tell you the very stones would cry out."

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解放され、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる

年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）